

「総合的な探究の時間」において 「整理・分析」をする力を育成するための指導の工夫 —ICTを活用した協働的な学びを通して—

特別研修員 総合的な探究の時間 平山 保(高等学校教諭)

生徒の実態

情報の収集はできるものの
整理・分析することが苦手



目指す生徒像

課題解決に向けて、情報を効果的に
整理・分析することができる生徒



「整理・分析」活動の具体例 順序付け、**比較**、**分類**、関連付け、具体化、抽象化、構造化等
『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総合的な探究の時間編』より

実践：学校間比較により自校の特徴を明確にして、自校の魅力を伝える方法を考える。



※ 整理・分析(比較、分類)することで、自校の魅力を伝えるアイデアに根拠と説得力をもたせる。

手立て1 ICT端末を活用した協働的な学習

(1) ペアが集まってグループワーク

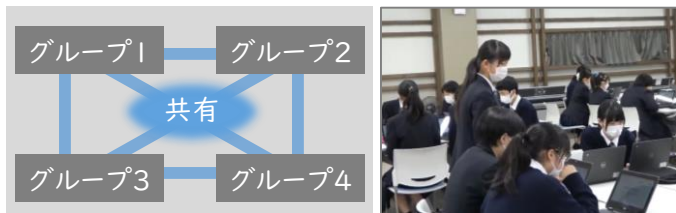
- デジタルワークシートの協働編集を行う。
- ペアで協力して作業を進める。



書き込んだ情報を即時に共有

(2) 各グループの協議内容をクラスで共有

- グループの代表者が口頭で説明する。
- 他グループを参考にしてデジタルワークシートを見直す。



共有ファイルにより細部まで理解

手立て2 情報を比較、分類するためのデジタルワークシートの活用

(1) デジタルホワイトボードで比較、分類

- 情報の並び替え・付け足しを行う。
- 多様な情報の中から視覚的に捉える。



(2) 文書作成ソフトで比較、分類

- 情報を精選して特徴を明確化させる。
- グループの意見を収束させる。

	他校	自校
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <A校> 普通科は2類型制による多様な入試科目への対応、理数科は2コース制による幅広い分野への対応 <B校> 情報処理科などの商業科目に力を入れている <C校> 生徒の個性を伸ばす多様な5つのコース <D校> 普通科の中で生徒のレベルに合わせた4つのクラス分け <E校> 様々な分野に特化した12のコースと学科 	<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学進学に向けたカリキュラムがある ・生徒の進路に合わせた選択科目が豊富
伝え方	<ul style="list-style-type: none"> <A校> YouTube, HP, Twitter <B校> HP, YouTube <C校> HP 	【例】授業・進路について

【成果】

- ICT端末を活用することで、グループ全体の議論を円滑に進める様子が見られた。
- デジタルワークシートの利用によって各学校の特徴を効率的に比較、分類することができ、整理・分析する能力を高めることができた。

【課題】

- 話し合いに集中しすぎて書き込みが少なくなってしまうように、時間配分に配慮する必要がある。
- 「他の地域の高校と比較したい」という意見も複数あった。生徒が新たに見出した探究課題に対応できるよう、今後の授業展開を工夫していきたい。